

FAX: 813.

地址: 中国上海茂名南路59号 邮编: 200020 电话: +8621 3218 9888 传真: +8621 6472 5588  
Add: 59 Mao Ming Road (S) Shanghai China Post Code: 200020 Tel: +8621 3218 9888 Fax: +8621 6472 5588 www.jinjianghotels.com

Independent Producerの立場から、アジア核政府 経済トップとの対話、交渉について、上海からメモを入れます。(中国政府からアジェンダ要請、招へい受け)

1. 《First World Ecology Hub として、日本の主要な内需導入の確保と、内行ITへの成長戦略を促す》  
「ハブ経済 Economic Hub Vision」が、実践的な日本の成長戦略を約束し得ることを確認し、即戦力とすべき、準備を進めてあります。  
(環境、IT、ヘルス、医療、バイオ、観光、教育、エンタテインメント等)
2. ハブ経済の100兆円300万人雇用の核と見なす。質重視の「First World Ecology Hub 草案」(ハブ化に伴って世界を牽引する産業のビジネス、IT化、第15条。50兆円(50万人雇用)を目標)が自派の重点分野とし、当初は環境、健康、観光が含まれていたが、成長戦略として今後更に必要となる内需の産み出し方、実効性の内行ITについて、その準備が構想をもっと整いませうと、報告します。  
— 前日、1月11日の、北京及び近郊都市における中国最大ITイベント「アベント(中一星共同)等」の当方のアジェンダ要請に対し、「日本と双方向(姉妹)アベントとして、共同の新産業ビジネスモデルづくりを行うことを、当方が提案」し、中国政府幹部、自治政府トップ、民間トップが賛同を得たことについて、北京から報告しました。
3. 《アジア核经济圈 中国の、二次産業成長場・消費地に向けた、日本との双方向のビジネスモデルづくり(奮闘)》  
これに続き、今日、上海を拠点とする、中国で最も環境友好の成長期待が持たれる長江デルタ・ITへのアジェンダ要請に対し、  
「FWEH内にある、ソフトサービス、コンテンツ等の高付加価値新産業と、共同で双方向(姉妹)アベントのビジネスモデルづくりを行うことを当方が提案」し、これに強い賛同を得ました。  
日本との
4. アジア核经济圈 中国の成長率の高い二次産業成長場・消費地と、日本との間を、  
① 北京を拠点とする近郊(天津ITを含み)においては、FWEH内の「環境、健康、医療、バイオ」等における、「業務、業際バリュー」での、日本と双方向の新産業モデルづくりを行う。  
② 上海を拠点とする長江デルタにおいては、豊かな環境、歴史資源、高い可処分所得IT特性あり、「ソフトサービス、コンテンツ」等における、「消費者志向の民生バリュー」での、日本と双方向の新産業モデルづくりを行う。  
— と、それぞれのトップ、幹部らに提案、賛同を得ました。  
これが更に、FWEH内の全ての重点分野が、直接日本の内需をもたせ得ること、実践的なモデル構築を促す内行ITと成ります。
5. 《日本の内需導入、日本との共同開発の対象政府、民間代表の、日本との交渉、アベントへの受け入れ(=促す)》  
両二次産業場の政府、民間トップが、当方提案に賛同したため、日本との双方向(姉妹)モデルづくりとアベントへの受け入れのために、近々来日予定とす。  
以上。